



たぶんかきょうせい？ 多文化強制？ 多文化共生ってどんな意味？



▽伏見青少年活動センターを取
材しました。取材に行く前に「青
少年」が「なにか」をみんなで考
えてみました。私は、「さわやかな
人」「少し大人な感じ」とイメ
ージしました。

▽伏見青少年活動センターは、
伏見区役所の4階にありました。
そこで働いている職員さんに、こ
こでどういった事が出来るのかを
取材しました。

▼中学生から30さいまでの人に
向けて

①プログラムの提供

②いろいろな部屋を貸し出して
いる(たくさん的人数で利用出来る
キッチンスペースや部屋を貸し出
している)

③困った時に相談できる(先生や
お家の人、友達に相談出来ない事
を相談出来る。誰にも相談でき
なくてモヤモヤする事を相談出
来る。相談して、おこられる事も
ないので気がねなく話が出る
場所。

▽青少年活動センターは京都市内
に7か所ある。それぞれの場所



得意分野がある。伏見のセン
ターで得意な事は、国際交流。
世界の国ではもちろん、日本の
中でも考え方や文化ちがう。
いろんな考え方や文化のちが
いがある。それが多文化共生と
呼んでいます。と説明してもら
いました。

▽私は、「なんで青少年を、中
学生から30さいまでの人と年
齢を区切っているのですか？」
と聞いてみました。

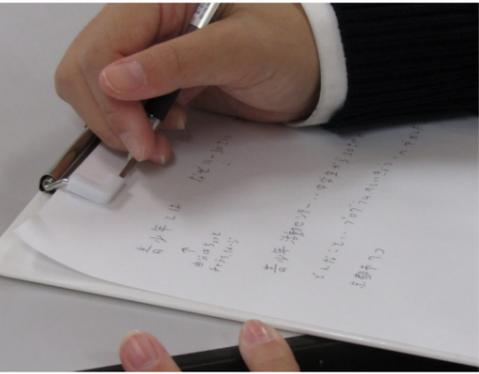
▼人が学ぶのは、子どもの時だ
けじゃなくてずっと続くと思
う。でも、いろいろな年代の人
がいっしょに学ぶのはちょっと
大変。だから京都は中学生から
30さいって決めたそうです。

▽「多文化共生」の意味を聞く
まえに、自分たちのイメージを
考えてみました。

「きょうせいは、わりやりやらせ
る強制？いろいろなところの文化
を楽しく無理やりやらせると
か？」

▽「多文化共生ってなんです
か？」

▼職員さんは、「多文化とはい
ろんな考え方のちがい。共生は
ともに生きる。相手と自分の考



え方ややり方も大事にする事」と
言っていました。

▽「文化ってなんですか？」って聞
いてみました。

▼お祭りとかもふくめて、ゆたか
に生きるための材料の一つ。「ゆ
たかに生きる」とは、どういう事だ
と思う？」と職員さんに質問され
ました。

▽私は、「自由な事だと思
う。私の思う自由な事って、出来
る感じ。出来るだけって、出来る
感じ。出来るだけって、出来る
無理せずなイメージ。ストレスな
く生きるために、やらなければ
ならない事を先にする。だから、
私は、夏休みとか冬休みの宿題
は、先に終わらせてあとは遊びま
くる。」

▽私は、「最後の日まで宿題は
残ってるわ。やりたい事はや
るってのがゆたかに生きる
って事やと思う。あと、最新の電
子が一式そろった家に住む事か
な」

▼ゆたかに生きるには、おかれて
いるその人の状況によっても違
う。「ちがいは、まちがいない
こと、ちがいを楽しむ事が多文
化共生につながる。」

▽こんな施設がある事を知らな
かった。中学生になったら、
また来てみようと思いました。

小さな手で大きな収穫 冬の収穫体験



大根をちからいっぱい引き抜く
子ども記者

醍醐の食を通じ
た文化体験プロ
ジェクト実行委員
会主催の子ども食
堂「みらい食堂」の
子ども達が、野菜
収穫体験を行いま
した。参加した子
ども達は、子ども
記者になって、醍醐
で農家をされてい
る岩田一男さん
に、野菜や畑の事
を取材しました。
記事の内容は、子
ども記者の取材内
容を基に記事にし
ています。

「これはなに？」「ネギかと思っ
たけど、チンゲン菜？金時人
参？」「ヒントは、きょうぎ」あ
わかった！にんにくや！『来年の
5月から6月ぐらいに収穫できま
す。』とお話がありました。土の
中にある野菜は、見えへんから、
何かわかりにくいなどと思いまし
た。ぼくたちは、毎日ご飯食べて
るけど、今は寒いので、ほとんど



畑の中の野菜をみんなで予想しました



の野菜が育たない。今、買える野
菜は、温室で育てられた野菜が
多いと言っていました。



鶏糞や米ぬかを発酵させた肥料を
見せてもらいました

冬の畑には、なにがあるのかな？
みんなの予想！あたった？はずれた？

向島秀蓮 「みまもり隊」の思いとは？

いつも学校の前に立ってくださっている、みまもり隊の方にインタビューをしました。

▽僕は、「どういう思いでみまもり隊をやっているんですか？」と聞いてみました。「子どもの笑顔が見たいし、元気がもらえるからです。それに子どもたちから挨拶をしてくれたら、もっと元気がもらえるからです。」とおっしゃっていました。僕も笑顔で挨拶をしようと思いました。



▽「みまもり隊をいつから始めていますか？」と質問すると「二十年前から始めました。」と答えてくれました。私たちが生まれる前から、みまもり隊を始めているのはすごいと思いました。

▽「なぜ服がオレンジ色なのですか？」と聞きました。そして「目立つからです。」と答えてくれました。服にも工夫があることを知りました。

▽「お給料をもらってやっているんですか？」と聞くと、「お給料はもらっていないです」とおっしゃっていました。私は、不思議になり「お給料をもらっていないのに、なぜやっているんですか？」と聞いてみると「子どもの笑顔を見ると元気になるからです」とおっしゃっていました。私は「お金をもらえなくても、子どもを大切に思ってくれているんだな」と驚きました。



子どもたちの安全をみまもって下さっている「みまもり隊」
子どもたちの挨拶が元気の源と語る

それを聞いて私は、挨拶を返す時にきちんと目を見て笑顔で挨拶をしようと思いました。

向島中央公園の優しい看板

▽中央公園の見守ってくださいの看板に書いてあることを書いて調べました。その内容は、「見守ってください。この樹木は、平成三十年の台風で倒れましたが、芽吹いているので見守ってください。」という内容でした。折れた気をそのまま残しているのが優しいな、と思うことができました。台風の被害で折れた木が、今も生きています。いい木だと思いました。



台風で倒れた中央公園の木

▽中央公園の魅力調べました。水の音や鳥の声、木が揺れる音がきこえて、とても癒されます。日々のストレスや悩みも中央公園に行ったら、全て吹っ飛んだ気分になります。こんな素敵な所が向島には沢山あります。



▽公園で遊んでいる子どもの声を聴くと、笑い声や優しい声が聞こえてきました。お友達がケガをした時に「だいじょうぶ？」と話しかけている声も聞こえました。私は、公園で遊んでいる時に、協力したり、仲良く遊ぶ心が、そこにある事を感じました。家でゲームをしたりして、外で遊ぶ子が少なくなっています。公園で人と仲を深めるのも良い経験だと思いました。

「とんど」行事の意味を知る

▽「この行事には、どんな意味があるんですか？」と聞くと、「お正月にお迎えしたご先祖さまを、また来てねとお見送りする意味があります」と教えてもらいました。今後の「とんど」の準備に僕も参加してみたいと思いました。



1月に行われた、向島南学区の、「とんど」その準備をしていた先生を取材しました。

▽「とんどで使っているものは、なぜ葦なのですか？」と聞くと「葦は定期的に刈らないと育たなくなるからです」と言っていました。

取材活動を通じて、地域の人と会話し、知らなかった事を直接会話して知ると言うことは、インターネットから得る知識とはまた違ったものになるという事を体感してもらいたいと思います。(note+p代表)



令和5年4月から「ふしみ子ども新聞」は「きょうと子ども新聞」に名前を変更いたします。

まちの人のちょっとひとこと

DO YOU KYOTO?

昨年2月から家のベランダでダンボールコンポストを始めた。今では週2回の燃やすゴミの日に出すゴミの量が半分以下となっている。生ごみは水分を多く含み、燃やすためにたくさん燃料を必要とする。一人の行動は小さいけれど、みんなの少しずつの行動が、地球を守ることに繋がれば良いなと思う今日このごろ。(ドゥーユーキョウト? コンポスト普及の会 代表)



子ども新聞ワークショップ

出店者さん取材しよう！
取材内容は後日新聞になります

@向島駅前わいわい元気バザール

対象：小学生
参加費：無料

3月6日9月12月の
第4日曜日
10時~14時

諸事情でワークショップ開催を中止する場合があります。

コンポストの作り方



①ダンボールを準備 ※熱が上がると蒸気が出るので2重構造のダンボールがおススメ

②ガムテープで補強 ※コンポストが呼吸できるようにクラフトテープが好ましい。虫の侵入を防ぐため穴はしっかり塞ぐ

③底面補強のため、ダンボールを切って敷く

コンポストの作り方



④ベランダに設置 ※雨の当たらない日当たりのいい場所に設置。すのこで通気性をよくする

⑤基材を入れる ビートモス3~5、もみ殻くん炭1

⑦保管時は布カバーをかけておく

子ども記者登録会員募集中



登録無料! 「きょうと子ども新聞公式LINE」のお友達登録をして頂くと、年に数回行われる子ども新聞ワークショップのお知らせが届き、子ども記者活動に参加できます。取材先は、地域のお店や施設、企業など。子ども記者のリクエストで取材先を決める事もあります! QRコードをスキャンしてお友達登録を!



対象：小学生

きょうと子ども新聞公式LINE